

2007 年 3 月 19 日

各位

株式会社みずほ銀行

組織 体制の強化について

みずほ銀行（頭取 杉山 清次）は、目標である「ミドル・リテールマーケットにおけるベストバンク」の実現を一層加速させるため、本年 4 月に、以下の観点から組織 体制の強化を行うことといたしました。

今回の組織 体制の強化のポイントは、以下の 5 点です。

第 1 に、「300名を超す本部から営業店への大胆な人員シフト」です。

『お客さまからの最高の信頼』の獲得を目指し、効率性を重視した本部組織のスリム化（約 1 割（4 部署）削減）を実施するとともに、企画・管理業務に携わる本部人員を中心に 300 名を超す人材を営業店にシフトいたします。さらに、営業店担当役員も 2 名増員いたします。これにより、お客さまとのリレーションシップをこれまで以上に深め、強めてまいります。

第 2 に、「内部監査部門の機能強化」です。

上記 1 の本部スリム化、営業店強化を進める一方で、SOX 法体制整備や監査のさらなるレベルアップを目指した「監査革新室」を新設する等、内部監査部門やコンプライアンス部門等の強化をはかります。

第 3 に、「個人グループ、法人グループの本部機能の再編 強化」です。

個人グループにおいては、4 部体制を 3 部体制に再編し、出店強化、MMC（みずほマイレージクラブ）やローン商品等のマーケティングや商品開発のさらなるレベルアップ、投資運用ニーズに対するコンサルティング機能の強化等を行ってまいります。

法人グループにおいては、7 部体制を 6 部体制に再編し、M & A 事業承継、PO 支援や海外進出支援等のアドバイザリー機能を強化するとともに、シンジケートローンやアセット・ベースト・レンディング等、ますます多様化、高度化するお客さまのニーズにベストなソリューションを提供してまいります。

第4に、「業務開発部門の新設」です。

個人、法人双方のビジネス領域に跨り、当行の「強み」として中期的視野で育成すべき戦略的分野について、業務開発部門として新たに位置づけました。当行が「強み」とするグループ内の証券会社や信託銀行との一層の連携強化を実現し、幅広いお客さまニーズにスピーディにお応えするため、「証券・信託業務部」を新設いたします。また、ITや通信技術の革新等による金融ビジネス領域拡大のトレンドを捉え、ITやWEB、携帯電話ビジネス等の発展・革新を先取りした新たな商品・サービスの開発・ビジネス化を「強み」とするべく「eビジネス業務部」を新設いたします。

第5に、「事務グループの再編」です。

お客さまにご提供する堅確かつスピーディで専門性の高い事務そのものが、お客さまへの最高のサービスのひとつであることを明確化し、事務サービスのさらなる品質向上を実現すべく、事務グループを「事務サービス部」、「融資・外為事務サービス部」に再編いたします。

新しい体制の下で、ますます多様化、高度化するお客さまのニーズに的確かつスピーディにお応えし、『お客様から最高の信頼』をいただける「ミドル・リテールマーケットにおけるベストバンク」の実現に邁進してまいります。

以 上

みずほ銀行の新しい組織・体制

